

History-teller のテーマ史講座

～北海道の歴史～

(1) 北海道と周辺の地理

- ・日本の最北端であり、都道府県面積は最大
- ・北海道の東側にある4島を**北方領土**という
 - **択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島**で構成される

(2) 原始 (B.C.2 世紀)

- ・本州と同様に、旧石器時代が存在
 - 氷期には、シベリアから**マンモス**や**ヘラジカ**が渡来
- ・そのまま縄文時代へ
 - 亀ヶ岡文化の影響を受ける／ストーンサークルが多く見つかる

(3) 原始時代以降の文化展開

- ・B.C.2c～ **続縄文文化**
 - 北海道には水稻耕作が伝播せず
 - 8世紀まで狩猟、採集、漁労の生活が続く
- ・7c 後半～ **擦文文化**
 - 土師器の影響を受けて縄文土器が使われなくなる
 - 本州から鉄器が伝わる
- ・12c～ **アイヌ文化**
 - 和人との交易で鉄器などを輸入
- ・3c～13c **オホーツク文化**
 - オホーツク海沿岸で展開

(4) 古代・中世（7世紀～16世紀）

- ・奈良・平安時代 朝廷からは蝦夷（えみし）と呼ばれる
→阿倍比羅夫の遠征？
→出羽国との交易…十三湊
- ・平安・鎌倉時代 朝廷からは蝦夷（えぞ）と呼ばれる
→日本人（和人）と交易を行い、鉄などを輸入
- ・13世紀前半 安藤氏が蝦夷管領に任ぜられる
→十三湊を拠点に、アイヌとの日本海交易を行う
- ・和人のさらなる進出
→和人が蝦夷ヶ島に行き、港や館を築くようになる（道南十二館など）
→アイヌの人々と交易し、利益をあげる
- ・1457年 コシャマインの蜂起
→アイヌ首長コシャマインが蜂起し、道南十二館を相次いで攻め落とす
→花沢館の蠣崎氏の客将武田信広が鎮圧
→武田信広は蠣崎氏を継ぐ
※蠣崎氏は豊臣秀吉から蝦夷ヶ島主に認められる
- ・1599年 蠣崎慶広が松前氏に改称

(5) 近世（17世紀～19世紀）

- ・1604年 松前慶広の蝦夷地交易独占を江戸幕府が許可
→松前藩を形成し、商場知行制が導入される
※商場知行制…商場を知行地として家臣に与える仕組み
→俵物（いりこ・干し鮑・ふかひれ）の生産が盛ん
- ・1669年 シャクシャインの戦い
→シャクシャインが松前氏に反抗するも鎮圧される
→これ以降、場所請負制の導入が進む
※場所請負制…和人の商人に交易を任せ、家臣は運上金のみを受け取る

- ・1778年 ロシア船が厚岸に来航し、通商要求
→松前藩は通商を拒否
→工藤平助は『赤蝦夷風説考』を田沼意次に献上／最上徳内の派遣につながる
- ・1789年 クナシリ・メナシの蜂起
→アイヌ最後の反乱／松前藩が鎮圧
- ・1792年 ラクスマンが根室に来航
→漂流民の大黒屋光太夫を返還し、通商要求
→幕府は通商拒否／長崎入港許可証（信牌）を渡す
- ・1798年 幕府は近藤重蔵と最上徳内を蝦夷地に派遣
→択捉島に「大日本恵登呂府」の標柱を建てる
- ・1799年 幕府は東蝦夷地を直轄化
- ・1800年 伊能忠敬の蝦夷地測量
- ・1802年 蝦夷奉行設置 ※蝦夷奉行⇒箱館奉行⇒松前奉行の流れで改称
- ・1804年 レザノフが長崎に来航
→津太夫の返還と通商要求／幕府は通商を拒否
→ロシアは樺太・択捉を攻撃
- ・1807年 幕府は西蝦夷地を直轄化
→松前氏は、陸奥国伊達郡に転封
- ・1808年 間宮林蔵の樺太探検
→樺太が島であることを確認（樺太と大陸の境界は後に間宮海峡と呼ばれる）
- ・1811年 グローウニン事件
→ロシアのグローウニンが国後島探検中に日本に捕らえられる
→翌年にはロシアが高田屋嘉兵衛を捕らえる
→1813年にお互いの帰国を以って、無事に解決
- ・1821年 蝦夷地が松前藩に返還され、松前奉行廃止

(6) 近代（幕末～明治）

- ・1854年 **日米和親条約**の締結
→下田と箱館の開港が取り決められる
- ・1854年 **日露和親条約**の締結…ロシア全権：**プチャーチン**
→下田と箱館に加えて、**長崎**の開港も決定
→**択捉島**と**得撫島**を日露の国境、**樺太**は両国人雑居の地に決定
→箱館奉行を再び設置
- ・1855年 箱館開港、蝦夷地を幕府が再び直轄化
- ・1868年 箱館奉行を箱館裁判所に置き換え
→すぐに箱館府になる
- ・1869年 **五稜郭の戦い**
→榎本武揚率いる旧幕府軍が新政府軍に敗北（戊辰戦争終結）
- ・1869年 **開拓使**設置、蝦夷地を北海道に改称
→初代開拓使長官：**鍋島直正**
- ・1870年 樺太開拓使を設置
→ロシアの樺太進出に対抗するために設置
→**黒田清隆**が北海道開拓使次官に就任（1874年に、長官に）
- ・1874年 **屯田兵制度**の発足
→北方警備と開拓を目的とする
→東北士族などから募集
- ・1875年 **樺太・千島交換条約**の締結
→日本全権：**榎本武揚**／ロシア全権：**ゴルチャコフ**
→樺太をロシア領とし、千島列島を日本領とする
- ・1876年 **札幌農学校**設立（現：北海道大学）
札幌麦酒醸造所（現：サッポロビール）

- ・1881年 **開拓使官有物払下げ事件**
 - 内容 開拓使長官**黒田清隆**が政商**五代友厚**に官有物を安値で払下げ
 - 結果 払下げ中止／大隈重信が罷免される
 - 影響 自由民権運動の影響もあって、**国会開設の勅諭**につながる
- ・1882年 開拓使廃止
 - 札幌県、函館県、根室県に分けられる
- ・1886年 北海道庁設置
 - 北海道の3県を統合
- ・1899年 **北海道旧土人保護法**の制定
 - 背景 開拓に伴うアイヌの生活への圧迫
 - 目的 アイヌの救済と保護
- ・1905年 **ポーツマス条約**の締結
 - 樺太**の南半分が日本の領土になる

(7) 現代（戦後）

- ・1945年 **太平洋戦争**の終結
 - ソ連の対日参戦（日ソ中立条約の一時的破棄）
 - 日本降伏後もソ連の侵攻が続き、北方四島や樺太を占領
- ・1950年 北海道開発庁の設置
- ・1951年 **サンフランシスコ平和条約**の締結
 - 千島列島や樺太の領有を日本が放棄
- ・1956年 **日ソ共同宣言**
 - 日ソ国交回復／北方領土問題は解決せず
- ・1967年 旭山動物園の開園
- ・1972年 **札幌オリンピック**の開催
 - アジア初の冬季オリンピック
- ・1991年 ソ連が崩壊し、北方領土はロシアが引き継ぐ
- ・1997年 **アイヌ文化振興法**
 - 北海道旧土人保護法を廃止した上で制定